

2022年杉並区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

区政に対する基本的な考え方

田中良

田中ゆうたろう

岸本さところ

めざすべき将来像

昨年策定した新基本構想で掲げる杉並区の将来像「みどり豊かな住まいのみやこ」を実現します。

「みどり豊かで安全で利便性に富んだ地域の中で、すべての人々が、誰一人取り残されることなく、より良い医療や教育、福祉サービスを受けられ、生き生きと暮らすまち」

日本人の権利を守る杉並に！
金権腐敗の現区政に訣別を！
区民福祉の劣化に歯止めを！
LGBTの政治利用を阻止！

57万人のいのちと暮らしを守る、徹底的な情報公開と共有が対話の始まり、一番困っている人を最初に助けるやさしい区政。地域経済を底上げする(脱炭素のための住宅建物断熱)。保育、児童福祉、介護は数や建物ではなく質。公共サービスを開き、民主化する(利用者、働く人の声を聞く)

現状認識

特別養護老人ホームでは床増による入所待機者の解消推進、保育園では5年間連続待機児童ゼロとなりました。また、児童館の子ども・子育てプラザ等への移行も進み、同プラザの利用者は5倍に増加しています。しかし、ヤングケアラーの問題や子どもの貧困対策、超高齢社会に向けてだれもが快適に移動できる利便性の高いまちづくり等、課題は山積しております。

上記の逆。

情報公開がない。杉並自治基本条例が守られていない。区議会が重視されていない。区の職員が住民から遠くなってしまった。区内の専門家(建設、福祉など)の知恵とやる気が活かされていない。緑が多い。高層のビルが少なく都心でありながら生活の質が保たれている。

解決したい課題

- ・「もっと・子育て 地域で支える」全ての子どもが健やかに育ち、そして育てられる環境整備
- ・「すべての区民に寄り添う福祉」医療的ケア児の生活サポートや子どもの貧困対策、さらには、ヤングケアラーへの対応など、新たな福祉課題への対応
- ・本格的な超高齢社会に向けて「誰もが移動しやすく人に優しいまちづくり」

現区長によって構築された、「公共事業は田中区長の仲間内で分け合う」という不潔ななれ合いをなくし、事業者を募集するときは、区内の事業者含め、やる気のある企業に広く門戸を広げたい。
ゆうゆう館や児童館の全廃、遠距離特養、保育の質の低下など、目先の数字にとらわれるあまり、本当の意味での区民福祉が劣化している。

住民要求や最新の知見を取り入れ風通しの良い行政にしていく。区民生活が苦しくなる中で、経済的負担が少なくなるように生活支援をおこなう。ハコモノを作るのではなく、地域社会を下から育てるサポート。非正規、個人事業主、商店などの大変な状況に対する積極的で迅速な支援。

2022年杉並区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

政策分野注力度（予算を100ポイント持っているとしたときの、各分野への配分度）

田中良	田中ゆうたろう	岸本さところ
社会保障 15 pt	社会保障 10 pt	社会保障 25 pt
産業政策 8 pt	産業政策 10 pt	産業政策 15 pt
社会資本整備 15 pt	社会資本整備 10 pt	社会資本整備 10 pt
教育・子育て 15 pt	教育・子育て 10 pt	教育・子育て 20 pt
農林漁業 6 pt	農林漁業 10 pt	農林漁業 5 pt
税財政・財政再建 6 pt	税財政・財政再建 10 pt	税財政・財政再建 1 pt
労働 6 pt	労働 10 pt	労働 3 pt
環境・エネルギー 10 pt	環境・エネルギー 10 pt	環境・エネルギー 10 pt
行政・議会改革 6 pt	行政・議会改革 10 pt	行政・議会改革 1 pt
安全・防災・震災復興 13 pt	安全・防災・震災復興 10 pt	安全・防災・震災復興 10 pt

※候補者へヒアリングシートを送付し回答が得られたものをもとに2022年6月12日現在で作成しました

2022年杉並区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第1優先（「政策分野注力度」の中から選択）

田中良

田中ゆうたろう

岸本さところ

政策

もっと・子育て 地域で支える

区長はあらゆる層の区民の意見に耳を傾けるべきであり、優先順位をつけることは自治体のリーダーとして相応しくないと考える。
現在私の考える区の課題は以下の通りである。

学校給食の無償化。区立小中学校、区立特別支援学校での保護者負担を減らし将来的に完全無償化をめざす。

分野

教育・子育て

教育・子育て、環境・エネルギー、産業政策

期限

- ① 2024年度（令和6年度）までに
- ② 2025年度（令和7年度）までに

2026年

数値目標

- ① 今後もこの地域で子育てをしたいと思う親の割合を98%に
- ② 認可保育所等入所決定率を100%に（希望するすべての子どもが認可保育所に入所できる環境を整備する）

4月1日からの引き上げ分については、区長に就任後、できる限り早く2022年中に保護者負担の増額分をゼロにする。2026年までに、学校給食の保護者負担分をゼロにすることをめざす。

手段

- ・ 希望する全員が認可保育園に入れる環境整備
- ・ 保育園の兄弟枠を新設、障がい児保育・学童の充実
- ・ 児童館事業の発展で、切れ目のない子どもの居場所づくりを推進（子ども・子育てプラザを7地域に2か所整備、学童クラブの受け入れ枠拡大、障がい児学童の充実）
- ・ 学童を学校内に移したことはおおむね成功。しかし学校に行かない子どもへの対策は課題あり。今後経験豊富な職員を核にした受け皿を作る。

- ① 自治基本条例の改正
- ② 区長公用車廃止
- ③ 杉並芸術会館(座・高円寺)正常化
- ④ 情報技術(IT)導入推進
- ⑤ 児童館・ゆうゆう館全廃計画見直し
- ⑥ 遠距離特養(南伊豆)撤退
- ⑦ 保育士・幼稚園教諭の処遇改善
- ⑧ 同性婚・同性パートナーシップ制度廃止
- ⑨ 韓国ソチョ区への区長団公費派遣中止

学校給食の給食費の無償化をめざす。4月1日から引き上げられている給食費は、引き上げ分をただちに区の全額負担とする。「近くから安全な食べ物を」。児童生徒福祉だけでなく、一定規模の安定した購入を行うことで都市近郊農業を支える産業政策、災害時も見据えた地産地消の杉並区の食の安全保障のネットワークに発展させる。

2022年杉並区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第2優先（「政策分野注力度」の中から選択）

田中良

田中ゆうたろう

岸本さところ

政策	すべての区民に寄り添う福祉	未回答	認知症対策の抜本的な見直し
分野	社会保障、教育・子育て		社会保障、社会資本整備 安全・防災・震災対策
期限	①2024年度（令和6年度）まで ②2026年度（令和8年度）まで		2026年
数値目標	①地域で支え合い、サービスや医療を受けながら、高齢になっても安心して暮らせる体制が整っていると思う区民の割合を50%に ②特別養護老人ホームを新設せずに待機者ゼロが継続できる環境を整えました		地域ごとに生活圏に応じて、地域の福祉医療ネットワークを組織化する。どういうケアが必要とする人がどこに住んでいるのかを明らかにし、個別のケアを地域住民で支える仕組みを行政として支える。この組織化を地域ごとに6割の地域で当面つくる。
手段	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム実質待機者ゼロの継続 認知症早期発見の取組実施 ICTを活用した単身高齢者世帯の見守り 「親なき後」の障がい者の生活支援 ヤングケアラーを支える仕組みの構築 医療的ケアのある子どもの生活をサポート 行政サービスの質の担保と万一の備えのために一定程度の直営体制を堅持（保育、学童、清掃事業） 		特別養護老人ホームの増設を中心にするのではなく、高齢者がなじんだ地域社会で暮らせる地域医療ネットワークをつくる。静岡県南伊豆町に特別養護老人ホームを作るなどは、区のやるべきことではない。「認知症になっても一人で暮らせる」ビジョンを専門家と当事者と共に作成 認知症と共に生きる希望条例（世田谷区）をモデルに。

2022年杉並区長選挙公開討論会 各候補者政策比較表

課題を解決するための重要政策 第3優先（「政策分野注力度」の中から選択）

田中良

田中ゆうたろう

岸本さところ

政策

誰もが移動しやすく人に優しいまちづくり

未回答

透明性のある行政
あらゆる特権の廃止
さまざまなかたちでの住民参加の促進

分野

社会資本整備、安全・防災・震災復興
産業政策

行政・議会改革

期限

2024年度（令和6年度）に

2026年

数値
目標

- ・次世代型移動サービスである「グリーンスローモビリティ」を導入
- ・区内建築物の耐震化率を95%に

区長の公用車の廃止、区長と幹部職員の飲食をともなう接待、ゴルフ接待の禁止はただちにおこなう。

手段

- ・不燃化や狭あい道路の無電柱化の推進、民間の技術革新を促す取り組み
- ・バリアフリー化の推進、区内鉄道駅のホームドアの設置支援
- ・駅周辺の整備で利便性と安全性を向上
- ・都市計画道路の整備促進
- ・中央道高井戸ランプの開設促進
- ・遊休区有地を活用した太陽光発電事業
- ・都市農業振興の促進
- ・コロナ禍で疲弊した地域経済の活性化のために地域の文化やイベント復活をサポート

区長などの公用車の廃止・抜本的見直し。区長や幹部職員の飲食をともなう接待やゴルフ接待への参加の禁止。情報公開条例の制定。住民参加型予算制度の導入の検討。公文書管理条例の制定。区が使っているお金の徹底した情報公開と共有、区が行う事業の情報の丁寧な公開から環境保全、防災、杉並の街のよさを生かしたまちづくりのために、住民、専門家、行政の対話を議論。